

アンケート分析の中間報告について

1. はじめに

この教区宣教司牧評議会へ中間報告として提出する報告書は、2019年12月に小教区や修道院（以下「小教区等」という。）で実施した「2020広島教区代表者会議」に向けてのアンケートについて、2020年1～2月に各地で集計・分析されたものを2020年3月頃より教区代表者準備事務局を中心に分析した結果をまとめたものです。

なお、この中間報告書には、若干の不備があることを申し添えておきます。それは、分析において、状況や事象を識別、判断したことの基準、規範や提案にあたり参考にした聖書の箇所やカトリック教会の教え等を提示（記載）することが出来ていないからです。

今後、作成するであろう最終報告書や教区代表者会議の準備の一環で小教区等において話し合いをおこなうにあたって、聖書やカトリック教会の教え等が根底（ベース）になるよう注意するよう、この場において再確認しておきたいと考えます。

2. 分析の手順について

教区レベルの分析手順は、まず各地区から提出されたアンケート集計・分析書をもとに、数回の教区代表者会議準備事務局会議で分析・討議をしてアンケート回答の内容を把握していきました。

次にその把握した内容を報告書の形で草案を作成し、教区代表者会議実行委員会（平和の使徒推進本部会議）へ提示し、修正した後、今回の中間報告書としてまとめました。

なお、分析期間中、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、数回のweb会議も駆使しながらの報告書作成となりました。

3. 報告書の活用方法の提案について

報告書は、各小教区等の生の意見や状況をあらわしたアンケート回答を集約・分析したものです。教区の宣教司牧課題について、現状から出発をするため、この報告書が今後の教区代表者会議を準備していく上での根底（ベース）となる資料になりえると考えます。例えば、「情報伝達に不備がある場合、どのような理由・事象があるのかを確認する手段としての活用が考えられること」などです。

この分析（報告書）を無視して今後のことを検討した場合、過去の過ちを繰り返すことになると考えられますので、十分注意してほしいと思います。

なお、分析内容に意見がある場合、遠慮無く、教区代表者会議準備事務局（平和の使徒推進本部内）へ申し出てください。また、参考になる聖書やカトリック教会の教え等がある場合も同様に申し出てください。よろしく申し上げます。

以上